

G-7

コーランのユースフ章における接続詞 *wa-* と *fa-* の使い分け

榮谷 温子 (Haruko SAKAEDANI)

本発表は、コーランのアラビア語における接続詞 *wa-* と *fa-* について、そのディスコース・マーカーとしての機能の違いを明らかにすることを目指す。

転写

子音

ء ’	ج j	ذ dh	ش sh	ظ z	ق q	ن n
ب b	ح ḥ	ر r	ص ṣ	ع ‘	ك k	ه h
ة, ت t	خ kh	ز z	ض ḍ	غ gh	ل l	و w
ث th	د d	س s	ط ṭ	ف f	م m	ي y

母音 短母音 a, i, u / 長母音 ā, ī, ū / 二重母音 ay, aw

先行研究

Fareh (1998) : 現代アラビア語の *wa-* についての論考であるが、アラビア語の *wa-* に、結果や因果関係を表す機能のないこと、そのような場合は *fa-* を用いるのが適切であることを指摘。

Hamza (n.d.) : Fraser (1999) の枠組みに基づいて、コーランの太陽章（第 91 章、全 15 節）を分析、*wa-* に章を始める働き、トピックを導入する働き、トピック変換をマークする働き、トピック同士を繋ぐ働きがあるとしたが、*fa-* についてはほとんど言及せず。

Nakamichi (1999) : *wa-* と *fa-* に関する詳細な論考。

基本的な用法

等位的用法

	記述の追加	同時性	時間的順序	因果関係	事実と理由	反意の関係
<i>wa</i>	○	○	○	×	×	○
<i>fa</i>	×	×	○	○	○	○

非等位的用法

	状態	挿入句	'ammā...fa 構造	条件文
<i>wa</i>	○	○	/	/
<i>fa</i>	/	/	○	○

wa と *fa* の選択に関する条件 (X *wa-/fa-* Y)

	<i>wa</i>	<i>fa</i>
Y の情報伝達性	$X \geq Y$	$X \leq Y$
提示	独立	密接に関連
聞き手への関わり合い	弱い	強い

※情報伝達性について

- (i) Y が X によって動機付けられる。
- (ii) X と Y の間の過程が省略されている。
- (iii) 視点が X から Y で移動する。
- (iv) Y が X にとって予期しない出来事である。

情報伝達性



Badawi & Abdel Haleem (2008) : コーランにおける *wa-* と *fa-* について、*wa-* の機能を、豊か過ぎて不明瞭としつつも、9 種類、*fa-* の機能を 5 種類にそれぞれ大別しているが、それらの間の明確な対照はおこなっていない。

wa- I 接続語、 II 一体、 III 離接語、 IV 再開や開始、 V 状態、 VI 強調、

VII 「または」、 VIII 誓い、 IX 8 の *wa-*

fa- I 接続語 {1 順序 (a 意味の関連、b 語りの関連)、 2 近接した順序、

3 原因性 (a 否定、b 禁止、c 疑問、d 願望の表現、e 希望の表現、ほか)}

II 帰結節の接続語 {1 名詞文、2 (a 動詞文、b 禁止、c 過去完了を表す完了形、

d 未来完了を表す完了形、e 未来性の小辞と組み合わせ、ほか)}

III 再開、 IV 説明を導く、 V いわゆる冗長な *fa-*

wa- について、順序を表さない例 :

wa-dkhlū l-bāba sujjadan wa-qūlū ḥiṭṭatun naghfir la-kum khaṭāyā-kum (Q 2:58)

そして頭を低くして門を入り *wa-*「お許してください」と言え。我らはあなたがたの過ちを許す。

wa-qūlū ḥiṭṭatun wa-dkhlū l-bāba sujjadan naghfir la-kum khaṭāyā-kum (Q 7:161)

しかし「お許してください」と言い *wa-*頭を低くして門を入れ。我らはあなたがたの過ちを許す。

分析

コーランのユースフ章 (第 12 章、全 111 節) を分析。

ユースフ章は、コーランの中でひとつの物語をもって終始する唯一の章であり、十分な長さを持つ一貫したテキストと言え、分析の対象として適している。

1. 物語の途中で突然アッラーに言及する場合

wa-ka-dhālika yajtabī-ka rabbu-ka wa-yu'allimu-ka min ta'wīli l-'aḥādīthi ... (Q 12:6)

*wa-*このようにあなたの主は、あなたをお選びになって、出来事の解釈を教えられ...

wa-jā'at sayyāratun fa'arsalū wārīda-hum fa'adlā dalwa-huḥ-qāla yā bushrā hādihā ghulāmūn

wa'asarrū-hu biḍā'atan wa-llāhu 'alīmun bi-mā ya'malūna (Q 12:19)

*wa-*隊商がやって来て、*fa-*彼らは水汲み人を遣わし、*fa-*彼は釣瓶を下ろした。彼は言った。

「ああ吉報だ、これは少年だ」*wa-*彼らは彼を売り物として隠した。*wa-*アッラーは彼らのすることをご存知だ。

wa-ka-dhālika makkannā li-yūsufā fi-l-'arḍi wa-nu'allima-hu min ta'wīli l-'aḥādīthi

wa-llāhu ghālibun ‘alā ‘amri-hi ... (Q 12:21)

wa-このように我らはユースフにこの地で地位を授けた、**wa-**彼に出来事の解釈を教えるために。**wa-**アッラーはご自分の命令には十分な力をお持ちになる。...

wa-laqad hammat bi-hi wa-hamma bi-hā law-lā ‘an ra’ā burhāna rabbi-hi ... (Q 12:24)

wa-確かに彼女は彼に求めたのである。主の明証を見なかったならば、彼も彼女を求めたであろう。

このように **wa-** が用いられる。

ただし、アッラーが「我ら」として物語中で果たした役割について述べる場合は、**wa-** のほか、**φ-** (接続語なし) の場合もある。

fa-lammā dhahabū bi-hi wa-‘ajma’ū ‘an yaj‘alū-hu fī ghaybati l-jubbi

wa-‘awḥaba-nā ‘ilay-hi la-tunabbi’anna-hum bi-‘amri-him hādhā wa-hum lā yash‘urūna (Q12:15)

fa-彼らは彼を連れて行き、そして彼を井戸の底に投げ込むことに決めたとき、

wa-我らは彼に啓示した。「あなたは彼らのこの件について、彼らが気付かぬまま彼らに告げる
ことになろう」

φ-ka-dhālika li-naṣrifa ‘an-hu s-sū’a wa-l-faḥshā’a (Q 12:24)

φ-このように、我らが彼から悪と醜行を取り払うために。

さらに積極的な役割を果たした場合は、**fa-** が用いられる例もある。

fa-stajāba la-hu rabbu-hu **fa-**ṣarafa ‘an-hu kaida-hunna

φ-inna-hu huwa s-samī‘u l-‘alīmu (Q 12:34)

fa-主は彼に応えて、**fa-**彼女たちの悪だくみを彼から取り払われた。

φ-まことに彼こそは良く聞き良く知るお方である。

2. **wa-** による場面の転換

wa-jā’at sayyāratun **fa-**’arsalū wārida-hum **fa-**’adlā dalwa-hu **φ-qāla yā bushrā hādhā ghulāmun**

wa-‘asarrū-hu biḍā’atan wa-llāhu ‘alīmun bi-mā ya‘malūna (Q 12:19)

wa-隊商がやって来て、**fa-**彼らは水汲み人を遣わし、**fa-**彼は釣瓶を下ろした。**φ-**彼は言った。

「ああ吉報だ、これは少年だ」**wa-**彼らは彼を売り物として隠した。**wa-**アッラーは彼らのすることをご存知だ。

wa- 隊商 ⇒ **fa-** 隊商 (彼ら+水汲み人) ⇒ **fa-** (隊商の) 水汲み人 ⇒ **φ-** (同じ水汲み人)

⇒ **wa-** 隊商がユースフを引き上げて売り物にするために隠す ⇒ **wa-** 全知のアッラー

wa-sharaw-hu bi-thamanin bakhsin darāhima ma’dūdatin

wa-kānū fi-hi mina z-zāhidīna (Q 12:20)

wa-qāla lladhī shtarā-hu min mişra li-mra'ati-hi ... (Q 12:21)

wa-彼らは彼を、安値、いくらかの銀貨で売った。**wa**-彼らは彼について、無欲であった。

wa-彼を買ったエジプトの者は彼の妻に言った。「…

wa- 彼ら (=隊商) がユースフを売った場面 ⇒ **wa**- (同)

⇒ **wa**- ユースフを買ったエジプトの高官の家

場面転換のない場合の、接続詞の不使用：

wa-jā'ū 'abā-hum 'ishā'an yabkūna (Q 12:16)

φ-qālū yā 'abā-nā dhahabnā nastabiqu ... (Q 12:17)

wa-夕刻、彼らは泣きながら、彼らの父のもとに来た。

φ-彼らは言った。「私たちの父よ、私たちは互いに競い合って行きました…

(井戸に投げ込まれたユースフに神が啓示を下す) ⇒ **wa**- 兄たちの帰宅 ⇒ φ- 兄たちの言い訳

wa-stabaqa l-bāba **wa**-qaddat qamīşa-hu min duburin **wa**-alfayā sayyida-hā lada l-bābi

φ-qālat mā jazā'u man 'arāda bi-'ahli-ka sū'an 'illā 'an yusjana 'aw 'adhābun 'alīmun (Q 12:25)

φ-qāla hiya rāwadat-nī 'an nafs-ī **wa**-shahida shāhidun min 'ahli-hā ... (Q 12:26)

wa-彼ら 2 人は扉のところまで競い合っていて、**wa**-彼女は彼の衣を後ろから引き裂き、

wa-彼ら 2 人は彼女の夫に、扉のところで出くわし、

φ-彼女は言った「あなたの家族に悪事を働こうとした者の報いは、投獄されるか痛苦の罰のほかには何がありますか」

φ-彼は言った「彼女が私の意に反して、私を誘惑しました」

wa-彼女の家族のうちの 1 人の証人が証言した …

(アッラーの言葉) ⇒ **wa**- 彼ら 2 人の競い合い ⇒ **wa**- 奥方が彼の衣を裂く

⇒ **wa**- 夫の登場 ⇒ φ-彼ら 2 人のうち奥方の言い分 ⇒ φ-彼ら 2 人のうち彼の言い分

⇒ **wa**- 証人の登場

Badawi & Abdel Haleem (2008) では、 **fa**- の機能のひとつとして近接的な連続を挙げているが、

fa-lammā dhahabū bi-hi (Q 12:15)

fa-彼らが彼を連れていったとき (翌日という時間的に離れた出来事)

のように、時間的に離れた出来事を **fa**- で結ぶ例も見られ、**fa**- は時間的な近接性よりもトピックの連続性を示す働きが重要であることが見受けられる。

ただし、場面転換に *fa-* が使われないわけではない。

wa-qāla li-lladhī ḡanna 'anna-hu nājin min-huma dhkur-nī 'inda rabbi-ka

fa-'ansā-hu sh-shayṭānu dhikra rabbi-hi

fa-labiṭha fi-s-sijni biḡ'a sinīna (Q 12:42)

*wa-*彼は、彼ら 2 人のうち助かると思った者に言った。「あなたの主人に私のことを言ってくれ」

*fa-*悪魔は、彼に、彼の主人へ話すことを忘れさせた。

*fa-*彼は数年、牢獄に留まった。

ユースフが牢獄から釈放される者に頼みごとをする ⇒ *fa-* 悪魔が忘れさせる

⇒ *fa-* ユースフは牢獄に繋がれたまま。

fa-lammā raja'ū 'ilā 'abī-him (Q 12:63)

*fa-*彼らが彼らの父のところに帰ったとき (長旅のあとの出来事)

(時間的に離れているうえ、エジプトのユースフが部下に命令をする場面からの急転換)

3. 接続詞なしで場面が転換する場合

qāla qā'ilun min-hum lā taqtulū yūsufa wa-'alqū-hu fi ḡhayābati l-jubbi ... (Q 12:10)

φ *-qālū yā 'abā-nā mā la-ka lā ta'man-nā 'alā yūsufa ...* (Q 12:11)

彼らのうちの一人が言った。「ユースフを殺害してはならない。彼を井戸の底に投げ込め...

φ 彼らは言った。「私たちの父よ、ユースフを私たちにお任せにならないとはどうしたのか...

ユースフの兄たちの謀議の場面 ⇒ 父への直談判の場面

ユースフの兄たちが場面の中心にいるが、謀議の場面から、父に直談判の場面に急に変わってしまう。

wa-qāla lladhī najā min-humā wa-ddakara ba'da 'ummatin

'anā 'unabbi'u-kum bi-ta'wīli-hi fa-'arsilū-nī (Q 12:45)

φ *-yūsufu 'ayyuha ṣ-ṣiddīqu 'afti-nā ...* (Q 12:46)

*wa-*彼ら 2 人のうち助かった者が、言った。*wa-*しばらく後で思い出して。

「私があなたがたに、その解釈について知らせましょう。それゆえ、私をつかわしてください。

φ ユースフ、誠実な人よ、私たちに説いてください ...」

牢獄から釈放された者が、王や長老と話をする ⇒ 牢獄のユースフと話をする

これも、釈放された者が場面の中心にいるが、王宮の場面から、突然、牢獄の場面に転換する。

(i) *rji'ū 'ilā 'abī-kum fa-qūlū yā 'abā-nā 'inna-bna-ka saraqā wa-mā shahidnā 'illā bi-mā 'alimnā*
wa-mā kunnā li-l-ḡhaibi ḡāfīzīna (Q 12:81)

wa-s'al l-qaryata llati kunnā fi-hā wa-l-'ira llati 'aqbalnā fi-hā wa-'in-na ṣ-ṣādiqūna (Q 12:82)

∅ qāla bal sawwalat la-kum 'anfusu-kum 'amran ... (Q 12:83)

「あなたたちの父のもとに帰り、言え。

『私たちの父よ、あなたの息子は盗みました。私たちは私たちの知っていることしか証言
しませんでした。そして私たちは見えないことについては守ることができませんでした。
私たちがいた町や、同行した隊商に聞いてください。私たちは真実を語る者たちです。』

∅ 彼は言った。「いや、お前たち自身が、お前たちに対して事をそそのかしたのだ。…

ユースフが兄たちに「父に次のように言え」とエジプトで命令する

⇒ (兄たちが帰って、そのように父に言ったところ、それに) 父が答える

ユースフの台詞の中で、兄たちが父に言い訳をしているが、その次に突然、場面が帰宅後になり、
場面の中心も父に変わってしまう。

いずれも唐突な場面転換であるが、「'abā-nā 私たちの父」(人称代名詞による限定)、「yūsufu ユー
スフ」(固有名詞)、「qāl-a 彼が言った」(人称代名詞の一種)といった限定名詞句によって、その転換
が示されている。

結論

wa- と fa- は働きの重なる部分も多く、その機能をはっきりと線引きすることはできないが、まず、
wa- はトピックや場면을転換させている。物語の途中で突然アッラーに言及するというのはその典型的
な例であった。

fa- は時間的な近接性よりもトピックの連続性を示す働きが重要であることが見受けられた。

これに対して、トピックや場面の転換のない場合、wa- や fa- を用いない例が見られる。逆に、接続
詞を用いずに場면을急転換させた場合、接続詞以外の要素、例えば限定名詞句の使用によって、場面転
換をマークする。

引用文献

- Badawi, E. M. and Abdel Haleem, M. 2008. *Arabic-English dictionary of Qur'anic usage*. Brill.
- Fareh, S. 1998. The Functions of And and Wa in English and Arabic Written Discourse, *Papers and studies in contrastive linguistics* (Adam Mickiewicz University, Poland), 34. 303-312.
- Fraser, B. 1999. What are Discourse Markers? *Journal of pragmatics*, 31-7. 931-952.
- Hamza, M. n.d. Discourse Markers in Written Arabic, *Teachers College researchers journal*, 1-1. 232-243.
- Nakamichi, S. 1999. On the Function of the Arabic Connectives wa and fa in Narrative Texts, *Journal of Asian and African Studies*, 58. 221-261.
- 中田考(監修). 2014. 『日亜対訳クルアーン：[付]訳解と政党十読誦注解』作品社.
- 日本ムスリム協会. 1990. 『日亜対訳・注解 聖クルアーン』改訂版第3刷.